



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月10日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 エスライン

コード番号 9078 URL <http://www.slinc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山口 嘉彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長

(氏名) 村瀬 博三

TEL 058-245-3131

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	9,878	1.7	△92	—	△52	—	△257	—
23年3月期第1四半期	9,710	6.5	28	—	66	124.3	△205	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △185百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △268百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△12.15	—
23年3月期第1四半期	△9.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	27,833	14,450	49.7
23年3月期	28,484	14,743	49.6

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 13,836百万円 23年3月期 14,125百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	5.00	5.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,000	△0.6	50	△59.3	100	△48.6	△180	—	△8.50
通期	41,000	△0.8	528	△14.7	610	△19.9	185	△11.1	8.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	21,753,993 株	23年3月期	21,753,993 株
24年3月期1Q	585,131 株	23年3月期	585,131 株
24年3月期1Q	21,168,862 株	23年3月期1Q	21,371,976 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月11日に発生した東日本大震災の影響により、企業の生産活動が大幅に減少し、また個人消費も低迷する中、一部では生産活動に回復の動きを見せ始めたものの、電力供給制限や原油価格の高騰に合わせて、海外景気の下振れリスクなどが懸念され、経営環境は先行き不透明な状況のまま推移いたしました。

当社グループの主要な事業であります物流関連事業におきましては、生産活動の低迷による国内貨物輸送量の減少や、お客様からの物流経費の削減要請があるなかで、軽油単価の高騰による燃料費の増加などコストアップ要因が重なり、引き続き厳しい経営環境が続いております。このような状況のもと、当社グループは、お客様が求められる物流ニーズに的確にお応えするために、グループ各社の得意とする業務分野で機動力を発揮するとともに、担当分野で培った物流ノウハウや施設を共有して、より質の高い物流サービスを提供するために、当社グループの総合力を結集して取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、営業収益98億78百万円（前年同期比1.7%増）、営業損失92百万円（前年同期は28百万円の営業利益）、経常損失52百万円（前年同期は66百万円の経常利益）、四半期純損失2億57百万円（前年同期は2億5百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[物流関連事業]

物流関連事業の主な事業収益は、貨物自動車運送事業、倉庫業、自動車整備事業、情報処理サービス業、損害保険代理業などであります。

貨物自動車運送事業のうち、当社グループの主力であります特別積合せ部門では、貨物輸送量減少による配送効率の低下、輸送単価の下落、軽油価格の高騰による燃料費の増加、また、お客様からの物流経費の削減要請などもあり、非常に厳しい状態が続いております。このような状況のなか、家電配送業務では、地デジ化移行への駆け込み需要や家電製品の買い換えなどにより配送件数が増加したこと、更には当社グループの得意とする集配網と物流加工業務の連携により、東日本大震災で被災された方々への支援物資輸送や、仮設住宅へお届けする生活物資の梱包と配送業務に協力するなど、お客様の要請に的確にお応えする物流サービスの提供に力を注いでまいりました。

この結果、物流関連事業の営業収益は97億12百万円（前年同期比1.7%増）、セグメント利益（営業利益）は33百万円（前年同期比80.7%減）となりました。

[不動産関連事業]

不動産関連事業につきましては、エスライングループ各社にて保有している遊休資産を有効活用するために、外部への賃貸事業を営んでまいりました。

この結果、不動産関連事業の営業収益は97百万円（前年同期比15.8%増）、セグメント利益（営業利益）は45百万円（前年同期比90.3%増）となりました。

[その他]

主に、旅客自動車運送事業を営んでおります。岐阜地区の高校や大学の通学バスを中心とした定期運行に加えて、冠婚葬祭時の送迎や学校の長期休暇時のサークル活動、さらには地域グループの行楽などの要請に応え、安全と安心を第一に、引き続き地域に密着した運行を行ってまいります。

この結果、その他の営業収益は68百万円（前年同期比5.3%減）、セグメント利益（営業利益）は9百万円（前年同期比22.0%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の連結資産合計は278億33百万円となり、前連結会計年度比6億50百万円減少しております。この主な要因は現金及び預金、受取手形及び営業未収入金の減少、固定資産の減価償却による減少、株式市場低迷に伴う投資有価証券の減少であります。

また、連結負債合計は133億83百万円となり、前連結会計年度比3億57百万円減少しております。この主な要因は借入金、営業未払金、未払法人税等の減少であります。

連結純資産合計は144億50百万円となり、前連結会計年度比2億93百万円減少しております。この主な要因は四半期純損失と配当金の支払による減少であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間における業績動向等を踏まえ、平成23年5月12日に公表の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,794	2,479
受取手形及び営業未収入金	5,296	5,168
貯蔵品	53	53
繰延税金資産	37	43
その他	286	330
貸倒引当金	△11	△6
流動資産合計	8,456	8,068
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,336	5,235
機械装置及び運搬具(純額)	1,221	1,122
土地	10,251	10,251
リース資産(純額)	124	113
建設仮勘定	—	51
その他(純額)	99	92
有形固定資産合計	17,033	16,866
無形固定資産	595	560
投資その他の資産		
投資有価証券	1,264	1,217
繰延税金資産	143	144
その他	1,010	1,000
貸倒引当金	△18	△23
投資その他の資産合計	2,399	2,338
固定資産合計	20,028	19,765
資産合計	28,484	27,833

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	4,413	4,246
短期借入金	1,190	940
1年内返済予定の長期借入金	495	434
未払法人税等	212	57
賞与引当金	226	454
役員賞与引当金	10	2
設備関係支払手形	26	2
その他	601	723
流動負債合計	7,176	6,860
固定負債		
長期借入金	357	288
繰延税金負債	2,186	2,234
退職給付引当金	2,998	3,009
役員退職慰労引当金	177	177
資産除去債務	203	203
負ののれん	90	79
その他	549	530
固定負債合計	6,564	6,523
負債合計	13,740	13,383
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,938	1,938
資本剰余金	2,812	2,812
利益剰余金	9,406	9,043
自己株式	△115	△115
株主資本合計	14,043	13,680
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	81	156
その他の包括利益累計額合計	81	156
少数株主持分	618	614
純資産合計	14,743	14,450
負債純資産合計	28,484	27,833

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業収益	9,710	9,878
営業原価	9,282	9,569
営業総利益	427	309
販売費及び一般管理費	398	401
営業利益又は営業損失(△)	28	△92
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	12	12
受取賃貸料	8	7
負ののれん償却額	12	11
持分法による投資利益	0	1
その他	13	14
営業外収益合計	47	48
営業外費用		
支払利息	5	4
売上割引	1	1
債権売却損	2	2
その他	0	0
営業外費用合計	9	8
経常利益又は経常損失(△)	66	△52
特別利益		
固定資産売却益	2	13
補助金収入	15	3
その他	1	1
特別利益合計	19	18
特別損失		
固定資産除売却損	14	3
投資有価証券評価損	—	174
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	111	—
その他	28	0
特別損失合計	154	178
税金等調整前四半期純損失(△)	△69	△211
法人税等	134	48
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△203	△260
少数株主利益又は少数株主損失(△)	2	△2
四半期純損失(△)	△205	△257

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△203	△260
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43	74
繰延ヘッジ損益	△20	—
その他の包括利益合計	△64	74
四半期包括利益	△268	△185
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△270	△183
少数株主に係る四半期包括利益	1	△2

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	物流関連 事業	不動産関連 事業	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	9,553	84	9,637	72	9,710	—	9,710
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	9,553	84	9,637	72	9,710	—	9,710
セグメント利益	174	23	198	11	210	△182	28

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バス事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△182百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社および(株)エスラインギフの総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	物流関連 事業	不動産関連 事業	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	9,712	97	9,809	68	9,878	—	9,878
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	9,712	97	9,809	68	9,878	—	9,878
セグメント利益 又は損失(△)	33	45	79	9	88	△180	△92

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バス事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△180百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社および(株)エスラインギフの総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。